

シティプロモーション・スポーツ調査特別委員会 案件一覧

(令和6年4月16日開催分)

○所管事務報告 5件

部局	報告順	件名	資料番号	説明者（所管課長名等）
企画経営部	1	大田区シティプロモーション推進事業の進捗（令和6年2月）等について	7	伊藤 広聴広報課長
	2	新たな大田区シティプロモーション戦略等の策定について（4月）	8	
スポーツ・文化・国際都市部	3	スポーツ健康都市宣言記念事業「第17回OTAウォーキング」の実施について	23	千葉 スポーツ推進課長
	4	令和6年度部活動指導業務委託事業者の選定結果について	24	
産業経済部	5	大田区公式観光ガイドについて	20	元木 商業・観光振興担当課長

大田区シティプロモーション推進事業の進捗（令和6年2月）等について

1 大田区シティプロモーション推進事業について

令和6年度に新たな大田区シティプロモーション戦略及びアクションプランを策定することを見据え、区外へのPR強化など次年度につながる取組をおこなった。

2 大田区シティプロモーション公式サイト「ユニークおおた」及びSNSの実績

(1) サイトビュー数及びSNSフォロワー数（2月末日時点）

・専用サイト「ユニークおおた」の閲覧状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
総ビュー数	37,259	32,821	28,885	41,362	42,042	47,689	59,034	47,348	43,568	39,430	61,681

・SNSの状況（フォロワー数） ※カッコ内は前月比

	3月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
X (旧 Twitter)	2,084	2,183 (31)	2,254 (71)	2,300 (46)	2,348 (48)	2,397 (49)	2,416 (19)	2,453 (37)	2,547 (94)
Instagram	978	1,034 (27)	1,080 (46)	1,156 (76)	1,197 (41)	1,265 (68)	1,278 (13)	1,303 (25)	1,336 (33)
Facebook	712	724 (2)	740 (16)	750 (10)	756 (6)	765 (9)	769 (4)	772 (3)	789 (17)

(2) 発信内容

・特集記事 12本。特集記事のほか165本の記事（2月末日現在）を投稿した。

公開日	タイトル
5月26日	5月下旬から6月上旬が見ごろ「スカシユリ」を見に羽田へ遊びに行こう！
7月14日	地ビールでカンパイ！「大田区の地ビール」を訪ねる
8月25日	「都心でキャンプ」のレア体験～大田区の宿泊キャンプ施設に行ってみよう～
10月6日	食欲の秋にとんかつを 激戦区・大田区で揚げたてとんかつを食す！
11月10日	大田区福祉施設とアーティストをつなぐ プラサート(+ART)始動！
12月8日	大田区の銭湯でととのう！サウナのある銭湯の魅力
2月2日	発見！心のこもったものづくり 大田区ブランド“おおむすび”を調査！
2月22日	フィルムカメラ×コンデジで巡る大田区「老舗喫茶店でレトロにひたる」
3月1日	私たちのごみはどこへ行くの？大田区のごみの行方を知ろう
3月8日	「東京スーパーエコタウン」ってどんなまち？
3月15日	フィルムカメラ×コンデジで巡る大田区「六郷のんびり散歩」
3月22日	大田区発 スタートアップを全力応援！創業支援施設「六郷BASE」



3 「#uniqueota フォトキャンペーン 2024」の実施結果について

大田区で撮影した大田区ならではの魅力、お気に入りスポット等の写真を X (旧 Twitter) に投稿してもらったフォトキャンペーンを実施した。

(1) 実施期間

令和6年2月1日 (木) ~ 3月13日 (水)

(2) 応募状況

297 点

(3) 景品

抽選で 10 名へショッピングサイトで利用可能なギフト券を発送



4 大田区公民連携推進PR動画について

大田区では 2023 年度に内閣府による「SDG s 未来都市」及び「自治体SDG s モデル事業」に選定されたことを受け、選定自治体に交付される「地方創生支援事業費補助金 (地方公共団体における持続可能な開発目標の達成に向けた取組の推進事業)」を活用し、大田区公民連携推進PR動画を作成した。

(1) 目的

大田区公民連携SDG s プラットフォームをはじめとした区の公民連携の取組をPRし、プラットフォーム参画企業の拡充や新たなステークホルダーの確保につなげ、更なるSDG s 推進を図る。

(2) 動画の編成

本編：12分程度

短編：(テーマ別動画) 5本

YouTube や SNS 用ショート動画：5本 (1本 30秒程度)

動画タイトル：みんなとミライへ



(3) 発信

大田区 : 区ホームページや公式 YouTube、X (旧 Twitter) などでの発信。令和6年5月1日配信
予定

連携企業 : プラットフォーム参画企業などと連携した各種媒体での発信

5 PR TIMES の試行の実施

区外へ大田区の魅力ある施策や地域資源を発信するシティプロモーション取組強化の一環として、報道機関向けのプレスリリースを広く配信するサービスを試行実施した。

(1) 試行期間

令和6年2月15日(木)～3月14日(木)

(2) プレスリリースの状況

5本、内容は以下のとおり

件名
【東京・大田区】区の魅力を伝えるフォトキャンペーン 2024 を開催中！ #uniqueota フォトキャンペーン 2024
【東京・大田区】都内屈指の梅の名所「池上梅園」が期間限定でライトアップ!!
【東京・大田区】DX の推進による「人にやさしい窓口」の実現に向けた新たな取組
【東京・大田区】区立中学校がデザインした大田区オリジナル SDGs ロゴマーク入りマルチエコバッグを 区立小中学生に、バッジを区職員に配布しました!!
【東京・大田区】桜の名所を駆け抜けるマラニックツアーを開催!!

新たな大田区シティプロモーション戦略等の策定について（4月）

1 新たな大田区シティプロモーション戦略及びアクションプランの策定について

シティプロモーションの強化は、昨年度末に策定された大田区基本構想において構想を実現するための方針の一つとして位置付けられ、少子化問題などの区の社会課題を解決するために時機を逸することなく、令和6年度に新たな大田区シティプロモーション戦略及びアクションプラン（以下、「戦略等」という。）を策定する。

大田区シティプロモーション戦略等策定支援業務委託公募型プロポーザルを実施のうえ、委託事業候補者と契約に向け業務内容について協議している。

2 令和6年度の大田区シティプロモーション推進事業について

令和6年度は新たな戦略等の策定に取り組みながらも、推進事業をあわせておこなっていく必要があることから今年度の推進事業のあり方について整理した。

令和5年度に取り組んだ、大田区シティプロモーション戦略アクションプラン第2期の情報発信の強化において掲げた取組は、昨年度末策定の大田区基本構想で示した方向性と軌を一にしており、昨年度の方向性を踏襲しながら今年度はさらに推進を強化して下表のとおり取り組む。

また、これらに加え、新たな戦略等の策定の方向性を注視し、適時有効な推進事業をおこなう。

令和6年度	令和5年度
・情報発信のさらなる強化 (1)子育て世帯や若者に訴求する情報発信 (2)区外在住者への情報発信 (3)SDGs未来都市や羽田空港・鉄道の魅力的なまちづくり等、区の将来を見据えたまちづくりの魅力の情報発信	・情報発信のさらなる強化 (1)20代以下の区民に訴求する情報発信 (2)ストーリー性を持たせ、まちづくりへの積極参画を促す情報発信 (3)大田区が目指すまちづくりの魅力の情報発信
・庁内連携体制の強化 (1)職員の熱意とスキルの向上 (2)職員のシティプロモーション指針の作成 (3)庁内連携して実施するシティプロモーションに資する事業等における連携強化	・庁内連携体制の強化 (1)職員のシティプロモーションマインドの醸成
・指標 (1)区民のシビックプライドに関する指標 (2)区外在住者による区の認知度等に関する指標	・指標 (1)区民のシビックプライドに関する指標 (2)区外在住者による区の認知度等に関する指標 (3)大田区シティプロモーション専用サイトのアクセス数

スポーツ健康都市宣言記念事業 「第17回OTAウォーキング」の実施について

1 目的

ウォーキングは年代や性別を問わずに誰でも取り組みやすい最も身近な運動である。本事業を通じて区民がスポーツを始めるきっかけづくりとするとともに、継続したスポーツ推進を図り、区民の健康の維持増進につなげる。

2 概要

(1) 日時

令和6年5月12日（日）午前9時から正午

(2) コース

グリーンベルト(大森)～六郷用水～田園調布せせらぎ公園(約7Km)

(3) 広報

区報4月21日号、チラシ、ホームページ、ツイッター

(4) 定員

400人

(5) 実施

主催：大田区

主管：公益財団法人大田区スポーツ協会

運営：大田区スポーツ推進委員協議会

(6) その他

小雨決行、荒天時中止

3 前回の様子（令和5年5月14日）



スタート地点の様子



ウォーキング中の風景

スポーツ健康都市宣言記念事業

第17回

令和6年5月12日(日)

参加
無料

午前9時～正午 ※受付8時45分～

おおた

OTAウォーキング

～旧六郷用水散策路を歩き

新緑を感じながら田園調布せせらぎ公園へ～



コース：グリーンベルト → 六郷用水 → 田園調布せせらぎ公園 (約7km) ※裏面参照

事前申込不要

当日、会場にてお申し込みください。

受付時間：午前8時45分～9時 小雨決行

受付場所：グリーンベルト (大森北一丁目33番地先) 大森駅入新井自転車駐車場前 (裏面地図参照)

対象：どなたでも ※小学生以下の参加には保護者の同伴が必要です。

ゴール地点にて完歩証をお渡しいたします。

大田浴場連合会様のご協力による体験入浴招待券もご用意しています。

お問合せ先：(公財)大田区スポーツ協会 TEL:03-5748-5400 FAX:03-6410-6955

荒天時の中止の判断については、スポーツ協会ホームページでお知らせします(当日中止については、当日午前7時にお知らせします。)

【当日のみのお問合せ先は 080-7236-2416】



スポーツ協会HP OTAウォーキング▲

主催：大田区

主管：(公財)大田区スポーツ協会

運営：大田区スポーツ推進委員協議会

第17回

おおた OTAウォーキング マップ

～旧六郷用水散策路を歩き
新緑を感じながら田園調布せせらぎ公園へ～

コース：グリーンベルト → 六郷用水 → 田園調布せせらぎ公園 (約7km)

進行スケジュール

- 8:45 受付開始
 - 9:00 説明、準備運動後に順次スタート
 - 10:00 ゴール受付開始
- ※完歩証をお渡しします



アクセス

JR 大森駅徒歩約5分
大森駅入新井自転車駐車場前・
入新井西公園近く

グリーンベルト

田園調布せせらぎ公園

六郷用水

中原街道下

OTAウォーキング参加者へのお願い

- ・体調の優れない方 (咳・くしゃみ・37.5度以上の熱のある方など) のご参加はご遠慮ください。
- ・体調には十分ご注意ください。体調が悪くなった時などは、途中棄権できますので、スタッフに申し出てください。
- ・ウォーキングには、こまめな水分と塩分の補給が必要です。各自、飲み物の用意と熱中症対策をしてください。
- ・歩きやすいシューズやウェアでお越しください。
- ・自転車での参加はできません。
- ・安全のため、スタッフ (誘導員) の指示に従ってコース上を歩いてください。
- ・会場には、駐輪場・駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しください。



令和6年度部活動指導業務委託事業者の選定結果について

区立中学校における部活動指導業務委託事業者を以下のとおり選定した。

1 受託候補者

名 称：特定非営利活動法人地域総合スポーツ倶楽部・ピボットフット
所在地：東京都大田区西馬込2-31-3-103

2 業務委託期間

令和6年5月1日から令和7年3月31日まで

3 選定理由（概要）

- (1) 学校との連絡・相談体制等が具体的かつ適切である。
- (2) 業務全般における調整力・対応力が高く、円滑な事業実施が期待できる。
- (3) 指導員の服務規程の管理体制及び個人情報保護体制が整っており、指導員にも厳重に周知徹底している。
- (4) 指導員の採用や育成、研修等の体制が整っており、人間性・社会性を有し、かつ専門的な技術指導ができる指導員の派遣が可能である。
- (5) 部活動指導における区内の地域資源（団体、民間事業者、人材等）の活用方法が、具体的かつ明確である。

4 応募事業者数

3事業者

5 選定経過

項 目	時 期
公募期間	令和6年2月13日から2月27日まで
一次審査（書類審査）	令和6年2月28日から3月6日まで
一次審査結果	令和6年3月13日
二次審査（面接審査）	
二次審査結果	令和6年3月19日
事業委託候補者決定通知	

大田区公式観光ガイドについて

1 刷新した経緯

平成25年、羽田空港の国際化や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機に、区外からの来訪者に大田区を認知いただくことを目的として大田区観光ガイドブック（日本語版・英語版）を作成し頒布した。

コロナ禍を経て、急速なインバウンド需要の回復など社会情勢の変化を鑑み、今般、大田区公式観光ガイドとして刷新した。



平成25年版

2 内容・部数

- (1) 日本語版（全24頁） 5,000部
- (2) 英語版（全20頁） 2,000部 ※いずれも本年度中に増刷予定

3 配架場所（予定）

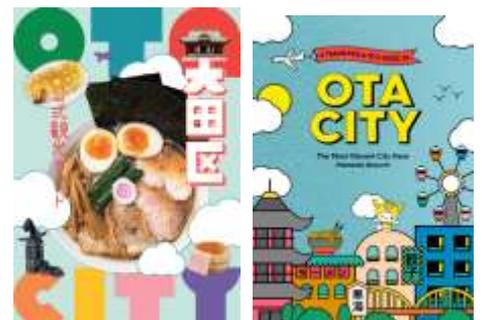
大田区観光情報センター、羽田空港第2ターミナルウェルカムセンター及び第3ターミナル大田区観光情報コーナーなど

4 特徴

- (1) 親しみやすいデザインと見やすい構成を意識して利用者に求められる情報を掲載
- (2) インバウンドに寄り添った情報発信とトランジットの隙間時間の活用を意識
- (3) 日本語版と英語版による掲載方法の差別化と二次元コードの活用

5 今後の活用方法

区内外で開催されるイベントやJNTO（日本政府観光局）を通じた発信など、幅広く活用していく。



令和6年版